

基本的な能の約束事にも触れながら、毎回ひとつの作品を取り上げます。単なるあらすじの説明ではなく、時代背景や登場人物の人間像、根底にある日本人独特の美意識や死生観など日本文化のさまざまな目に向けて、作品世界を掘り下げ、鑑賞する力を育てる講座です。

第13回 能『大江山』を読み解く

令和4年9月22日(木)

14時開始(13:30開場/15:30終了予定)

会場:国立能楽堂 大講義室

(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1)

要予約/定員40名

参加料:一般2,000円

R会員2,000円/S会員1,500円

青少年1,000円(満13歳~16歳未満)

※年中無休可換の印刷券をお持ちください。

酒吞童子を退治せよとの約束を受けた酒呑の一行は、山伏に変装して酒吞童子が現れる大江山へと向かい、見事、鬼の首を討ちとりました――。自伝にも語り継がれてきた東運治伝説を題材としたこの美話譚は、「土蜘蛛」や「羅生門」などの能にも仕立てられています。酒吞童子伝説には、新興勢力である大和朝廷と先住の民との対立の図式が秘められていたりといえます。どちらが善でどちらが悪か、元の当て方々が変わる正義、敵のもととなった「酒吞童子退治」の真れを辿りかけながら、動盪烈烈の物語の奥に目を向けます。



講師プロフィール: 氷川まりこ (伝統文化ジャーナリスト)

横浜エフエム放送で開始準備から番組の企画・構成を担当、その後、フリーの放送作家、雑誌記者、編集者として幅広くトレンドの取材を重ね、1990年代以降は、能楽を中心に、茶、花、香、舞など寛政期の東山文化の芸術、芸能を専門として、書籍や記事の編集・執筆、レクチャーなどを行っている。書かぬ経験と取材に基づかれた知識を基に、多岐にわたるジャンルを縦横につなげて時代や文化をまるごととらえる力は評価が高く、多くの取材の依頼を受けている。



【参加申込み】

■ 伝統文化交遊協会予約サイト <https://www.tpcoc.info/events/>

■ メール tpcocentobunko@icloud.com 以下ご記入の上、お申込みください。

【 講演名「9/22能楽鑑賞入門」/お名前/電話番号/申込人数 】

後日、代金振り込みのご案内メールをお送りします。



主催:一般社団法人伝統文化交遊協会 共催:古典の日推進委員会 特別協力:ジャゴニスム振興会

国立能楽堂公演のチケット手配も!

講座受講者をご希望の方には、取り上げた作品が上演される国立能楽堂定期公演の正会員チケット(有償・割引料金)をご案内いたします。上記講座申込と合わせて「観覧チケット申込」をお申込下さい(受付開始:9月9日)。行演しは9/22の能楽鑑賞入門講座会場となります。

11月12日(土)13時開演 普及公演

解説:狂言「附子」(茂山忠三郎/大盛流)、能『大江山』(上田公成/観世流)

古典の日

【平成24年4月発行「古典の日に関する法律」により

毎年11月11日が「古典の日」と制定され、国民が古典に関心・心をよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。】

新型コロナウイルス感染予防対策に関する注意事項です。必ずお読みください。

- 各自マスクをご持参の上、会場内では必ず着用をお願いいたします。
- ご来場者全員に検温と手指の消毒を実施させていただきます。37.5度以上の発熱がみられる場合はご入場をお断りいたします。
- 客席は通常の約半数とさせていただきます。必ず事前予約をお願いいたします。
- 今後のウイルス感染等の状況によっては、定員数の増減や公演中止となる可能性もございます。予めご了承ください。